

テトラヒメナの細胞質分裂—最近の成果と疑問点—

沼田 治

(筑波大・生命環境科学)

【要旨】 テトラヒメナの細胞質分裂は、収縮環の収縮によると考えられている。最近のテトラヒメナ・ミオシン遺伝子の探索により、2型ミオシンがテトラヒメナに存在しないこと、2型ミオシンに類似したミオシン13遺伝子をKOしても細胞質分裂に影響が全く無いことが分かった。さらに、アクチン重合阻害剤ラトランキュリンAが細胞質分裂を阻害しないこと、収縮環アクチン繊維の重合脱重合に関わるコフィリン遺伝子をKOしても細胞質分裂に影響が出ないことが分かった。これらの結果を受けて、テトラヒメナの細胞質分裂に関して考察する。